

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている			
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近くにモノレールの駅が出来たことにより、当店前の道路を往来する人が増え、観光客の来客数が増加している。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・宮古島が台風の被害に遭うなどのマイナスの要因もあったが、観光客数の増加や沖縄全体の好要因に支えられ、売上は好調である。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・新商品の販売で少し動きがある。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	販売量の動き	・引き続き観光客が好調であり、その層は大学・専門学校など若い世代が中心となっている。 ・売上も前年同月比で上昇している。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・例年であれば、9月は徐々に来客数が減少していくのだが、今年は去年の20%増加で推移している。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・売上が前年同月比で約10%程上昇している。
	変わらない	百貨店（担当者）	販売量の動き	・月始めに関しては先月同様、モノレール開通により来店客数、販売量ともに増加し、台風の影響を差し引いても前年同月比で4～5%増加したが、中旬以降は、昨年度のプロ野球優勝セールの効果との比較になるため厳しい数値となっており、今月全体としての判断は変わらない。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・来客数は前年並みを確保するが、1人当たりの購買額が前年を割り95%前後となっており、売上、販売量ともに伸び悩んでいる。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・客単価がここ数か月間、前年同月比で横ばいか1ポイントアップの状況で、下げ止まりの様子を呈している。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・熱暑という天候に支えられたところもあったがそれも落ち着き、既存店の来客数は前年割れとなっている。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・販売量はそれほど変わっていないが、単価を下げた店舗では売上が伸び悩んでおり、単価を変えていない店舗では特に変化はないという状況である。
		家電量販店（副店長）	単価の動き	・来客数は増加しているものの、AV商品の不振等が大きく影響し、前年同月比で売上、客単価ともに低下している。
観光型ホテル（商品企画担当）		販売量の動き	・前年同月と比較して来客数では約103%、稼働率でも3ポイントそれぞれ上昇している。販売単価も昨年を上回る勢いであり、9月の連休は秋休みの旅行シーズンとして定着したようである。	
ゴルフ場（経営者）		お客様の様子	・先月に引き続き、割引料金を利用する客が増えたものの、客単価はさほど落ちておらず、客の動きは良い。	
住宅販売会社（従業員）		お客様の様子	・住宅金融融資の金利が10数年ぶりに上昇することになったのだが、金利上昇直前にもかかわらず駆け込み需要は比較的少なく、7月頃の住宅取得減税直前の駆け込み需要に比べて増加幅が小さい。住宅取得者層は、金利上昇はある程度見込んでいるようだが、今後も金利上昇が続けば、住宅取得意欲の減退が拡大するのではないかと危惧される。住宅減税の更なる延長があれば、住宅取得者層の改善がみえてくる可能性もある。	
	やや悪くなっている			
	悪くなっている			
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	不動産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・販売量の動きはさほどないが、問い合わせ件数が増えたり、引越等を検討する客の増加傾向がうかがえる。

雇用 関連	変わらない	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・物量は例年並みとなっている。
		通信業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・安い商品へ移行する傾向が続いている。
	やや悪くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、契約量が減少している。
		不動産業（支店長）	受注価格や販売価格の動き	・買手の大幅な価格調整の要求に対して、売手が応じるようになってきている。
	悪くなっている	-	-	-
	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・これから繁忙期を迎える企業からの求人が増加している。
		学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・観光関連産業の回復等により、求人数が昨年度より増加傾向にある。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・8月までは求人の依頼など活発な動きがみられたが、9月に入り、それが少し止まった感がある。また、周辺企業の状況としても同様の動きがみられる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・県内新規求人数は一般求人は2.8%増加したものの、パート求人は16.3%減少している。 ・求人数を産業別にみると、建設業が35.6%、製造業が3.9%とそれぞれ増加したものの、卸売・小売業・飲食業、サービス業で減少している。 ・県外からの求人数は1,543人で臨時・季節工が3か月前に比べ67.3%増加している。
やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（営業担当）	周辺企業の様子	・求人誌の募集掲載数が全体的に増加しているのだが、これは双方の競合により無料掲載やサービス合戦が増加し、企業側が複数誌に掲載するようになったためである。 ・求人広告の傾向として、あまり良い待遇のものはなく、また、掲載内容も給与や待遇などを公表せず、面談により決定・当社規定と掲載するケースが増えていることから、雇用条件が分かりにくく、ますます応募者の問い合わせや面接のチャンスが少なくなっている。	
悪くなっている	-	-	-	